【授業科目】老年看護学実習　　Gerontological Nursing Practicum

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
三好 陽子、藤井 夕香、岡村 勇飛	３年次 後　期	必　修	4	１８０	実　習	あり	巻末 掲載	否

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／老年看護学では高齢者の健康や生活について幅広く理解し、看護の役割を明確にして個別性のある実践を行うことが求められている。 そこで老年看護学実習においては、高齢者に特有な健康障害の身体、精神、心理・社会面の特徴を幅広くとらえ、健康課題が生活に及ぼす影響をアセスメントし、健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法を計画、実施、評価することについて学習する。特に、多様な価値観や人生観を有している高齢者を尊重する行動をとることを重視し、実習の体験を通して老年看護の役割について自ら考えることができるよう学習を進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出されたレポートや実習記録にコメントをつけて返却する。
実務経験に関する授業内容	看護師の臨床経験をもつ教員が、看護師として必要な老年看護学の知識について、老年看護学の資料・教材を交えながら指導していく科目である。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①老年期の身体、精神、心理・社会的な特徴を総合的にアセスメントし、高齢者の健康課題について考え、看護を実践することができる。 ②高齢者が入居、入院する介護保険施設や医療機関の特徴を理解し、高齢者がその人らしく日常生活を過ごすための援助について考え、看護を実践することができる。 ③入居、入院前の高齢者の生活や役割を理解し、高齢者が望む生き方や今後のあり方について考えることができる。 ④高齢者を取り巻く医療・保健・福祉制度や資源について理解し、他職種との連携における看護の役割、独自性について自分の考えを述べることができる。 ⑤高齢者の意思を尊重し、高齢者から学ぶ姿勢や態度で接することができる。
時間外学習に必要な内容・時間	※詳細については、実習要項を参照してください。
授業計画	・実習期間は、令和７年９月８日～令和８年２月２７日のうち２０日間 ・実習時間は、原則として、９：００～１７：００ ※詳細については、実習要項および実習オリエンテーション時配布資料を参照してください。 三好 藤井 岡村
評価方法 評価基準	※詳細については、実習要項を参照してください。
学生への助言等	老年看護学実習では、常に高齢者の立場になって考える習慣を身につけて下さい。また、実習中は体調管理に留意して下さい。これまでに学んだ知識や自己学習を生かして、考えながら、主体的に学ぶことを期待しています。